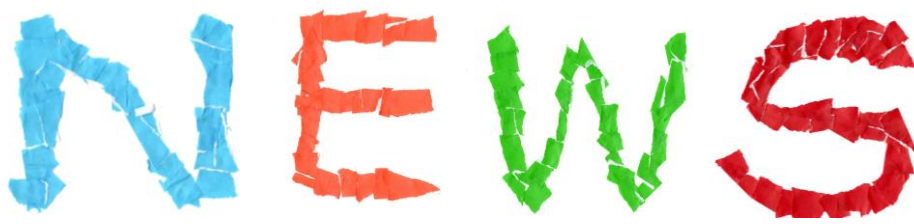
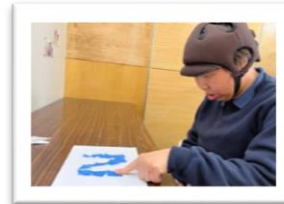


題字のエピソード

今回の題字はあおぞら科の秋山裕美さんと菅澤ゆり香さんのちぎり絵リレーで題字を作成しました。折り紙と一緒にうさぎのダルマも作りました。



《題字》 秋山裕美さん、菅澤ゆり香さん



発行責任者：與那嶺 泰雄 編集委員：鬼沢 工藤 細田 衣笠 落谷 佐々木

めいねんしんご

施設長 與那嶺泰雄

コロナ禍の中で迎える3回目の新年。秋には、いよいよゆめふる成田が開設します。保護者の皆様には、年末年始帰宅自粛のお願いにご理解いただきありがとうございます。ご利用しました。利用者さんは、クリスマスディナー、年越しそば、おせち、お雑煮、初詣、餅つき大会と新年の行事と食事を楽しみ、新年会外出では鰻と舟盛の刺身、大きなエビフライやステーキ丼と御馳走を堪能し、元気に新年を迎えました。御安心ください。

元旦、利用者さんの朝食はおせちとお雑煮でした。飯田さんに「明けましておめでとう」と声をかけると「おめでとう」と答えてくれました。雑煮の具を食べ終え、お餅だけが残っています。箸が止まったので、おもちも食べようと声をかける職員。しばらくして、「き・な・こ」と飯田さん。お雑煮だからお餅そのまま食べていいよと職員。でも、また「き・な・こ」と。厨房からきな粉をいただいていたつぶりかけると、美味しそうに食べていました。その光景を見て大切なことを改めて感じました。お餅はきな粉をつけて食べるのが一番おいしい。それが雑煮の餅であっても。これが飯田さんのスタイルなのです。

食事だけではなく、生活全般の個々のスタイルを尊重し、利用者さんの思いを丁寧に汲み取って、それに応える支援をしていくこと。30周年の際の「ハート&ハート」宣言を深化させていくことこそが、本当のゆめふるの具現化だと思います。職員一同頑張って参ります。本年もよろしくお願いいたします。

今年も良い一年に...



元旦、2日の朝はおせち料理とお雑煮を頂きました。食べて美味しいだけでなく、それぞれの食材に込められた願いを噛み締めながら頂きました。

初詣は、コロナウイルスの感染拡大に配慮し、館ごとに。滑河観音や小御門神社など近場に初詣に行きました。お賽銭を投げて、手を合わせ、みんなで今年1年の願いを唱えてきました。「どのお守りにしようかな」沢山時間をかけて迷っていたのは山岸陽子さん。外村幸祐さんはバスに乗車する前から初詣に行くことをとても楽しみにされている様子でした。

1月2日は、待っていました。

餅つき大会。みなさん頑張ってお餅をついてくれました。当日はお天気も良く、紅白幕が青空に映え、豪華な門松がお正月気分をより高めてくれます。ハチマキを巻き、カメラにピース。やる気満々な石原智弘さん。餅つきが終わるとやりきった表情をされていました。力強くお餅をついて下さったのは飯田勝嗣さん。写真でも伝わるこの迫力。笑顔でお餅つきに参加され、きな粉餅やあんこ餅を美味しく召し上がっていました。



出来上がったお餅はそれぞれの頑張りが功を成し、柔らかくて、よく伸びるお餅に。おやつにみんなで頂きました。「お餅美味しいね」とあちこちから聞こえていました。お餅つきは力仕事で少々手間もかかりましたが、自分達で作るものは格段の美味しさですね。新年ならではの、忘れられない楽しいイベントとなりました。

初めての門松作り

今年の門松は、私が先輩職員に師事して、材料の竹を切るころから製作に関わりました。

自分で手をかけて作った門松が飾られているところを見ると感慨深いものがありました。来年以降も門松づくりは継承していきます。（中山大悟）



# 年末も美味しく、楽しく元気に過ごしました

**12月23日** 作業科忘年会前日は新型コロナウイルスの接種につき、当日は休日課となった為、作業科ではなく生活館やホームでの忘年会を行いました。お昼ご飯は、クリスマスお弁当。エビピラフやフライドチキン、リースをかたどった可愛い和菓子にお腹も心も満たされました。小腹が空いてきたおやつ時、作業科それぞれでおやつを楽しみました。フルーツが沢山乗ったパンナコッタを美味しく召し上がる土肥えりさん。八百屋さんが厳選したフルーツたっぷり「甘い」と嬉しそうでした。いちごのたくさん乗ったケーキに思わずシュルリ、待ちきれない半澤晋一さん。お疲れ様の気持ちを込めて…乾杯する木村彰宏さん、岩城充さん。ご馳走が沢山でした。



**12月24日** 待ちに待ったクリスマススイブ。イブの夜は一際豪華なディナーに皆さんウキウキされています。揚げ物、蟹の甲羅グラタン、サラダ、シチュー、そしてトロやカニ、イクラののった最高級のお寿司に、やっぱり外せないクリスマスケーキ。シャンメリーで乾杯すると、特別感がより出てきます。室内の装飾も一面クリスマス仕様で豪華にしました。お寿司を持って満面の笑みを浮かべられたのは濱崎洋安さん。写真を見ただけでも美味しさが伝わってきます。川井勇一さんは早めに食堂に来てはディナーが待ちきれない様子。皆で素敵なイブを過ごしました。



**12月31日** 2022年も最後。あつという間の大みそか。細く長く、来年も良い年になりますように。そんな願いを込めて頂いたのは年越しそば。秋山裕美さんは数本ずつ丁寧に啜りあげてお蕎麦をいただきます。天ぷらもエビ、サツマイモインゲン、かぼちゃと豊富で年越し最後まで美味しいものを頂きました。



## ゆめふるプロジェクト進捗速報!

**12月27日**

春棟の型枠は外され、秋棟はコンクリート打設が行われるところです。



セントラルキッチン、空調や水道などの配管工事が進んでいました。



1月7日に南西館の皆さんでゆめふる成田の建設の様子を見に行きました。段々と作り上げられていくその様子に皆さんワクワクされていました。



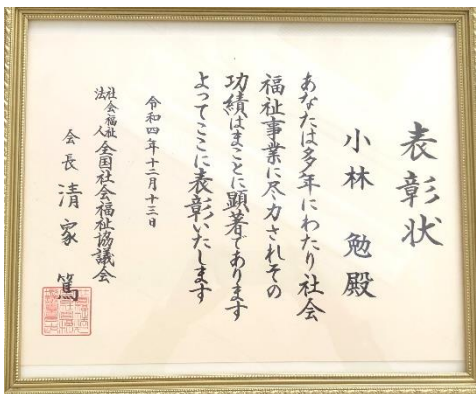
## 地域の方からの贈り物

年末に、名木地区の藤崎様から手作りの竹箒を10本頂きました。落ち葉掃き掃除などで大活躍しています。藤崎様、ありがとうございます。



## 祝 受賞

この度、小林勉理事長が多年にわたる福祉事業への功績が認められ、全国社会福祉協議会会長表彰、社会福祉施設功労賞を受賞されました。新年早々に喜ばしいご報告を、保護者の皆様にお届けいたします。小林理事長、誠におめでとうございます。



## 編集後記

新年を迎え、新たな気分でお過ごしのことと思います。まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大は予断を許さない状況ですが、学園一丸となり、楽しいイベントでいっぱい、年末年始をみんなでお過ごし事ができました。お正月気分もそろそろ抜けてくる頃、今年も一年気合い(愛)を入れて利用者さん、職員皆で頑張っていこうと思います。本年も何卒よろしくお願いたします。(佐々木)